

医療処置に続発する合併症の特定コードは、以下のカテゴリーに包含されている。

- E89.- 医療処置に続発する内分泌障害および代謝障害、他に分類されないもの
- G97.- 医療処置に続発する神経系疾患、他に分類されないもの
- H59.- 医療処置に続発する眼および付属器官の障害、他に分類されないもの
- H95.- 医療処置に続発する耳および乳様突起の疾患、他に分類されないもの
- I97.- 医療処置に続発する循環器系合併症、他に分類されないもの
- J95.- 医療処置に続発する気道疾患、他に分類されないもの
- K91.- 医療処置に続発する消化器系疾患、他に分類されないもの
- M96.- 医療処置に続発する筋骨格系疾患、他に分類されないもの
- N99.- 医療処置に続発する泌尿生殖器疾患、他に分類されないもの

但し、術後に認められうる病態の中には術後合併症であることが確実視できないものもある（肺炎等）。したがって、こうした場合は通常の方法でコード化する（J15.8 その他の細菌性肺炎等）。

医療処置との関連性を示す目的で、以下のコードを追加することも可能である。

- Y82.8! 医療技術装置・医用製品に起因する偶発症例
- Y84.9! 医療処置に起因する偶発症例、詳細不明

例

結腸フィステル形成術後に機能障害をきたした症例の場合

- K91.4 結腸フィステル形成術または腸フィステル形成術に続発する機能障害

1年前の甲状腺切除術後に甲状腺機能低下症をきたした症例の場合

- E89.0 医療処置に続発する甲状腺機能低下症

抜歯後に著明な出血をきたした症例の場合

- T81.0 侵襲的処置の合併症として認められる出血および血腫、他に分類されないもの

- Y84.9! 医療処置に起因する偶発症例、詳細不明
(オプション)

形成外科手術後に器質性精神病をきたした症例の場合

- F09 詳細不明の器質性または症候性精神障害

- Y84.9! 医療処置に起因する偶発症例、詳細不明
(オプション)

補遺 A

コード化の基本規則 (WHO)

アルファベット順索引には、第 1 巻に記載されていない多数の診断名が包含されている。コード番号の決定にあたっては、アルファベット順索引だけでなく分類リストでの検索も行うこと。

コード化担当者は、コード入力作業の開始に先立ち、分類およびコード化の原則について熟知しておかなければならない。また、これに関する実習を事前に数回行っておくことが望ましい。

ICD を利用する機会の少ないスタッフに向けて、以下に簡単な手引きを記載しておく。

1. コード化を要するデータ内容を確定し、アルファベット順索引で該当コードがあるかどうかを検索する。データ内容が疾患や損傷あるいは第 I 章～第 XIX 章か第 XXI 章に分類される病態であれば、アルファベット順索引の第 1 部を参照する。一方、データ内容が損傷の外因あるいは第 XX 章に属する事象であれば、アルファベット順索引の第 2 部を参照する。
2. 主概念を検索する。通常、疾患や損傷では症状・状態を表わす常用診断名がこれに該当する。但し、アルファベット順索引では、主概念となる症状・状態が形容詞や人名に基づく名詞で表現されているものも含まれている。
3. 主概念に関する個々の注意事項を読み、その内容に準拠すること。
4. 主概念の後に丸括弧で示されている一切の診断名に目を通す (但し、丸括弧内の診断名はコード番号に影響を与えるものではない)。また、主概念の下に字下がりの形で記載されている全診断名にも注意を払うこと (この修飾語でコード番号が変わることもある)。このようにして、診断名の概念をひとつひとつ全体にわたり検討していく。
5. アルファベット順索引の相互参照 (「～を参照」「～も参照」) に注意する。
6. さらに分類リストを参照し、選定したコード番号が適切であることを確認する。ここで注意すべきポイントは、アルファベット順索引に記載されている 3 桁カテゴリーの 4 桁目にダッシュ“-”が付されている場合、その 4 桁目に入る細分類コードが第 1 巻に記載されていることである。同様に、5 桁目以降に適用できる細分類コードもアルファベット順索引には記載されていないため、当該コードを使用する必要がある場合には第 1 巻を参照しながら選定する。
7. 選択対象となるコードごとに「包含」「除外」が設けられていることがあるので注意すること。「包含」「除外」は、章、グループ、カテゴリーの見出しに付記されている場合もある。
8. コード番号を割り当てる。

補遺 B

コード化に関するガイドライン・ドイツ版・ 2003 年版から 2004 年版への変更個所のまとめ

編纂の手順

コード化に関するガイドライン・ドイツ版・2004 年版は、以下の手順を踏まえて編纂した(2004 年版「序文」も参照)。

- 本ガイドライン 2003 年版の編纂(文法上および語法上の訂正、参照個所の誤記の訂正)
- ICD-10-GM・2004 年版に合わせた内容改訂
- OPS-301・2004 年版に合わせた内容改訂
- G-DRG 分類・2004 年版に合わせた内容改訂
- コード化に関するガイドラインを構成する個々の内容の明確化
- コード化に関する特別ガイドラインの明確化を目的とした、内容の新規採用および削除

本文や具体例の変更個所は、ページ右端の縦線で示した。但し、2003 年版の編纂上の変更個所で特に重要でないものについては、縦線は反映させていない。

コード化に関するガイドラインのうち、新規に導入した事項や内容に変更を加えた事項については、その通し番号の右端に“c”を付した。ICD や OPS の内容に適合させることに伴い新規コードを作成した場合には、その旨を「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」内容変更個所として記載した。例えば具体例の内容のみを変更したガイドラインでは、番号の変更は行わなかった。

以下に、個々の節での変更個所、およびコード化に関する各ガイドラインについての本質的な変更個所について簡単に説明する。

本質的な変更個所

編纂上の注意事項

ICD-10-GM には、特定の診断内容のコード化に必須となる感嘆符付きコードが新たに追加されている。これを表 2 に補完した。

疾患のコード化に関する一般ガイドライン

D002c 主診断

基礎疾患が判明している症例における、症状に対する一般的治療のコード化方法を説明するため、例 4 を明確化した。

「日帰り入院患者または在院が数日間にわたる患者を対象とした治療」の部分では、日帰り患者のコード化に関する事項を新規形式に合わせて改訂した。

同一病院への再入院のコード化について新たな節を設けた。

D012a 多重コード入力

ICD-10-GM では、ダガー付きコードおよびアステリスク付きコードが変更されたことから、例 1 と例 3 にも改訂を加えた。また「感嘆符付きコード」では、その内容を「編纂上の注意事項」表 2 に合わせて改訂した。

D013c 分類リストで適用される正規の約定

新たな決まりとして、コード番号の端にピリオドとダッシュ “.-” およびダッシュ “-” を付した。

医療処置のコード化に関する一般ガイドライン

P015c 臓器の摘出および移植

臓器または組織片のドナー候補者の検査、生体臓器提供、院内脳死後臓器提供、および移植を目的とした入院例のコード化方法を明確化したほか、臓器摘出、組織採取、移植に関する表を改訂した。

コード化に関する特別ガイドライン

第 1 章 感染症

0101c HIV (AIDS)

「HIV 性疾患 (AIDS) に対する化学療法」の説明を新たに加え、具体例も設けた。

第 2 章 新生物

0208c 悪性免疫増殖性疾患および白血病の寛解

寛解状態に関する内容が ICD-10-GM で変更されたことに合わせて、「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」でも内容改訂を加えた。また、新規追加コード C95.8! 白血病、標準寛解導入療法に対し抵抗性を示すものを採用した。

0211c 新生物に対する化学療法

化学療法、または放射線療法と化学療法の併用を目的とした入院例について、そのコード化に関する説明を新たに加えた。

0212c 細胞傷害性物質の膀胱内注入

細胞傷害性物質の膀胱内注入を目的とした入院例について、そのコード化に関する説明を新たに加えた。

0213c 放射線療法

放射線療法を目的とした入院例について、そのコード化に関する説明を新たに加えた。

第 3 章 血液および造血器の疾患、ならびに免疫系異常を伴う特定の血液機能障害

0301c 骨髄または幹細胞の採取および移植

「骨髄または幹細胞の採取および移植」について、「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」にその説明を新たに加えた。また、ICD-10-GM で新規コード Z52.01 幹細胞ドナー、また OPS で 5-410 移植を目的とした骨髄採取がそれぞれ採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0303c 移植後の機能不全および拒絶反応

造血幹細胞移植、臓器移植、組織移植に起因する機能不全例および拒絶反応例のコード、すなわち T86.-臓器移植および組織移植に起因する機能不全ならびに拒絶反応に関する説明を「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」に新たに加えた。

第 4 章 内分泌・栄養・代謝疾患

0401b 糖尿病

ICD-10-GM で新規コード L89.-褥瘡性潰瘍、I70.2-四肢アテローム性動脈硬化症、Z89.-四肢欠損が採用されたことに合わせて、「糖尿病性足部疾患」の病像を示す併存症のリストを改訂した。

0403c 嚢胞性線維症

ICD-10-GM でカテゴリーE84.8-その他の症状を伴う嚢胞性線維症の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

第 5 章 精神・行動障害

0507a 代理ミュンヒハウゼン症候群

代理ミュンヒハウゼン症候群のコード化に関するガイドラインは削除した。本症候群のコード化は、「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」1915c 成人・小児の性的暴力および虐待に従って行うこととする。

第 6 章 神経系疾患

0601a 卒中発作

ICD-10-GM でカテゴリーG82.-不全対麻痺および対麻痺、四肢不全麻痺および四肢麻痺およびN39.4-詳細が明示されたその他の尿失禁の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。また、卒中の遺残症状を明確化した。

0603c 四肢麻痺および対麻痺、非外傷性

ICD-10-GM でカテゴリーG82.-不全対麻痺および対麻痺、四肢不全麻痺および四肢麻痺の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0604a 自律性反射不全

ICD-10-GM でカテゴリーG90.8-その他の自律神経系疾患の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

第 7 章 眼および付属器官の疾患

0704c 角膜移植に伴う機能不全または拒絶反応

ICD-10-GM で新規コード T86.83 眼の角膜移植に伴う機能不全および拒絶反応が採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0705c 斜視（斜視）

OPS でカテゴリ－5-10 眼筋の手術の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

第 9 章 循環器系疾患

0901c 虚血性心疾患

ICD-10-GM でカテゴリ－I25.1-アテローム動脈硬化症性心疾患の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0902a 急性肺水腫

ICD-10-GM でカテゴリ－I50.1-左心不全の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0908c 冠動脈バイパス手術

ICD-10-GM でカテゴリ－I25.1-アテローム動脈硬化症性心疾患の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0910c 体外膜酸素供給（ECMO）

OPS でカテゴリ－8-852 体外膜酸素供給（ECMO）およびECMO の前治療の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0911c 人工心臓ペースメーカー、除細動器

ICD-10-GM で新規コード Z45.0 人工心臓ペースメーカーおよび既存の電氣的除細動器の調整・処置、また OPS で新規コード 5-377.7 両室刺激型除細動器の植え込みがそれぞれ採用されたことに合わせて内容を改訂した。

0912c 動静脈フィステル形成術および動静脈シャント形成術

特に透析用シャント形成を目的とした入院例について、そのコード化に関する説明を新たに加えた。

第 10 章 呼吸器系疾患

1001c 器械的呼吸管理

OPS でカテゴリ－8-718 器械的呼吸管理の実施時間および 8-717 睡眠関連呼吸障害に対する鼻または口・鼻の陽圧呼吸療法の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

1003c 慢性閉塞性肺疾患

ICD-10-GM でカテゴリ J44.1 *慢性閉塞性肺疾患の急性増悪*、詳細不明の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

第 13 章 筋骨格系疾患

1306c 人工股関節の脱臼

ICD-10-GM において、脱臼に伴う軟組織損傷の程度を表わす新規コード S71.84!~S71.89!が採用された。これに合わせて内容を改訂した。

第 14 章 泌尿生殖器系疾患

1401c 透析

OPS でカテゴリ 8-853 *血液濾過*、8-854 *血液透析*、8-855 *血液透析濾過*の新規コードに実施時間を入力するシステムが採用されたことに合わせて内容を改訂した。また、実施時間の算出方法に関する解説も加えた。

第 15 章 妊娠、分娩、産褥

1508c 妊娠期間

ICD-10-GM でカテゴリ O09.-1 *妊娠期間*、O47.- *偽陣痛 [偽陣痛]* および O60.- *早期陣痛および早期分娩*の新規コードが採用されたことに合わせて内容を改訂した。

1514c 胎動緩慢

「胎動緩慢」の診断がついた入院例に関する説明を「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」に新たに加えた。

1519c 早産、早期陣痛および偽陣痛

ICD-10-GM で O47.- *偽陣痛 [偽陣痛]* および O60.- *早期陣痛および早期分娩*のコードが変更されたことに伴い、早産、早期陣痛、偽陣痛のコード化に関する説明を「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」に新たに加えた。

1525c 一次帝王切開、二次帝王切開

OPS のコード 5-749.0 *帝王切開の再施行*（現在では帝王切開反復例の追加コードとして使用される）に合わせて内容を改訂した。

第 19 章 損傷、中毒、その他の外因による特定の続発症（後遺症）

1903c 骨折および脱臼

ICD-10-GM において、軟組織損傷の程度をコード化する際に使用する新規コード Sx1.84!～Sx1.89!が採用された。これに合わせて内容を改訂した。また、骨挫傷（「骨挫傷」）のコード化方法に訂正を加えた（現在では、骨折を部位に即してコード化する）。

1909c 意識喪失

意識喪失例（損傷の有無は問わない）で使用するカテゴリ－S06.7-脳・外傷時の意識喪失のコードを正確に入力するための説明を「コード化に関するガイドライン・ドイツ版」に新たに加えた。

1910c 脊髄損傷（外傷性対麻痺および四肢麻痺を伴うもの）

ICD-10-GM でカテゴリ－S14.1-その他の詳細不明の頸髄損傷、S24.1-その他の詳細不明の胸髄損傷、S34.1-その他の詳細不明の腰髄損傷の新規コード、軟組織損傷の程度を表わす際に使用する新規コード Sx1.84!～Sx1.89!、カテゴリ－G82.-不全対麻痺および対麻痺、四肢不全麻痺および四肢麻痺の新規コードがそれぞれ採用されたことに合わせて内容を改訂した。

1914a 熱傷

OPS で新規コード 8-191 広範囲かつ重症の皮膚罹患部位への包帯装着が採用されたことに合わせて内容を改訂した。

1915c 成人・小児への性的暴力および虐待

本ガイドラインは、代理ミュンヒハウゼン症候群の症例をコード化する際にも適用する。

索引

A

依存症候群
 一定義 99
 異常
 一胎位および児頭嵌入の異常 164
 流産
 一奇胎に起因する流産 157
 一妊娠早期終了時の流産 159
 一定義 157
 一切迫流産 4
 一不全流産 158
 一流産の続発性合併症 158
 異常受胎 158
 癒着（異常癒着） 141
 顆粒球減少症 69
 AIDS（「HIV」も参照） 63、64
 全身麻酔 50
 一全身麻酔下での臨床検査 50
 アルツハイマー病 103
 麻酔
 一全身麻酔下での臨床検査 50
 一麻酔下での検査 155
 一全身麻酔 50
 動脈瘤（静脈瘤）
 一冠静脈瘤 123
 狭心症 121
 一不安定狭心症 121
 血管症
 一糖尿病性血管症 94
 失語症、不全失語症 107
 卒中（「卒中」も参照） 105
 虫垂炎 141
 動脈炎
 冠動脈炎 123
 関節鏡検査 49
 薬剤
 一薬剤の副作用 200
 一薬剤に起因する中毒 199、200、201
 新生児における羊水過度吸引症候群 175
 気管支喘息 138
 急性気管支喘息 138
 急性重症気管支喘息 138
 慢性閉塞性気管支喘息 139
 慢性閉塞性肺疾患を伴う気管支喘息 139
 無症候性 HIV 感染症 64
 運動失調症 179
 新生児の呼吸困難症候群 175

アテローム動脈硬化性心疾患 122

Ä

病因 5
 一病因コードの入力 22、23

A

在院
 一数日間の在院 9
 入院
 一手術目的での入院、手術は実施せず 17
 眼瞼、再建術 147
 自律性反射不全 108

B

菌血症 68
 靭帯裂傷 151
 椎間板
 一椎間板ヘルニア 149
 一椎間板損傷 150
 器械的呼吸管理 41、135
 一（呼吸管理の）開始 136
 一新生児を対象とした器械的呼吸管理 135、174
 一器械的呼吸管理の実施時間の算出 135
 一器械的呼吸管理の定義 135
 一（呼吸管理の）終了 137
 一ウィーニング 137
 一器械的呼吸管理後の期間 137
 一転院患者の器械的呼吸管理 137
 骨盤位 164
 終了
 一妊娠の終了 159
 所見
 一異常所見 3
 一診察所見と臨床記録に食い違いが認められた場合 3
 一所見のコード化 179
 治療計画
 一治療計画が実施しえなかった場合
 一治療計画が実施しえなかった場合の主診断 9
 近接部位に進展した悪性腫瘍
 一原発巣が判明しているもの 74
 一原発巣が特定されていないもの 75

一部位不特定（部位不明）のもの 76
 評価
 一評価対象となりうる所見 4
 胞状奇胎 157
 眼瞼形成術 147
 血液製剤（の輸注）85
 輸血 85
 出血
 一消化管出血 142
 一肛門出血 143
 骨挫傷 185
 定位（定位近接照射療法） 110
 予防を目的とした皮下乳房切断術 147
 乳房内挿入物（乳房内挿入物の除去） 147
 （大動脈冠動脈）バイパス（「冠動脈大動脈バイパス形成術」も参照） 126

C

カンピロバクター 141
 化学療法
 一新生物に対する化学療法 80
 一細胞傷害性物質の膀胱内注入 81
 一化学療法と放射線療法との併用 81
 慢性骨髄性白血病 12
 慢性
 一慢性仙骨痛 149
 一慢性進行性外眼筋麻痺 109
 CML 12
 COLD 139
 一慢性閉塞性肺疾患の急性増悪 139
 一感染症に起因する慢性閉塞性肺疾患の増悪 139
 一慢性閉塞性肺疾患と肺気腫との合併 139
 圧挫症候群 186

D

実施時間
 一呼吸管理実施時間 41
 除細動器 130、132
 定義
 一依存症候群の定義 99
 一流産の定義 157
 一急性中毒〔急性酪酐〕の定義 99
 一主診断の定義 4
 一主処置の定義 36
 一生産（生産児）の定義 157
 一副次診断の定義 11
 一新生児期（新生児）の定義 171
 一周産期の定義 171、173
 一一次帝王切開および二次帝王切開の定義 168

一精神作用性物質の濫用による健康障害の定義 99
 一臨床的意義をもつ医療処置の定義 35
 一死産の定義 157
 一中毒の定義 199
 一産褥の定義 169
 一周産期にその原因をもつ特定病態の定義 173
 脱水症
 一胃腸炎に伴う脱水症 143
 痴呆
 一アルツハイマー型痴呆 103
 糖尿病
 一二次性糖尿病 97
 糖尿病 89
 一糖尿病性足部症候群 95
 一栄養障害または栄養失調に起因する糖尿病 97
 一代謝機能異常を示す糖尿病 89
 一糖尿病性白内障 93、115
 一糖尿病性合併症
 一急性代謝性合併症 91
 一眼合併症に伴う糖尿病 93
 一複数の糖尿病性合併症 91
 一神経系の糖尿病性合併症 94
 一腎臓の糖尿病性合併症 92
 一血管系の糖尿病性合併症 94
 一糖尿病の病型 89
 糖尿病性足部症候群 95
 診断（内容）
 一両側性疾患の診断内容 21
 一主診断（「主診断（内容）」も参照） 4
 一副次診断（「副次診断（内容）」も参照） 11
 一推定診断 18
 透析 153
 一透析用シャント形成（術） 132
 転位
 一椎骨
 一脊髄損傷に伴う椎骨の転位 193
 二重分類法 24
 切迫性
 一切迫性疾患 3
 嚙下困難 106
 反射不全（自律性反射不全） 108

E

ECMO 130
 侵襲的処置
 一複合的な侵襲的処置 41
 単胎（単胎自然経膈分娩） 160
 嵌入の異常（児頭嵌入の異常） 164
 肺気腫

-慢性閉塞性肺疾患（COLD）に合併した肺気腫 139
 内視鏡検査 49
 -複数の領域を対象とした内視鏡検査 50
 分娩
 -分娩に関する主診断（内容） 164
 -分娩後の転帰 161
 -入院前分娩 165
 -早期分娩 166
 抜去
 -鼓室開放チューブの抜去 119
 脳症
 -低酸素性虚血性脳症 176
 硬膜外麻酔
 -娩出期での硬膜外麻酔 168
 初産婦（高齢） 165
 除外
 -ICD-10-SGB-V 29
 -OPS-301 42
 体外膜酸素供給 130
 子宮外妊娠
 -子宮外妊娠の続発性合併症 158
 切除
 -腫瘍占拠部位の切除 74

F

家族性腺腫性ポリープ症 83
 墮胎（選択的墮胎） 168
 熱性痙攣 180
 複数回手術
 -複数回手術が計画された場合 9
 続発症（後遺症） 14
 -急性期卒中発作の続発症（後遺症） 105
 -外因の続発症（後遺症） 196
 -続発症（後遺症）の定義 14
 -続発症（後遺症）の特定コード 15
 骨折 184
 -脱臼骨折 185
 -腹腔内損傷に合併した骨折 188
 -胸腔内損傷に合併した骨折 188
 -頭蓋骨骨折 187
 -椎骨骨折
 -脊髄損傷例での椎骨骨折 193
 早産児
 -早産児症例 171
 早産 166

G

壊疽
 -切迫性壊疽 4
 胃炎

-胃炎を伴う胃潰瘍 141
 消化管出血 142
 分娩
 -骨盤位分娩 164
 -誘発分娩 167
 -単胎分娩 160
 -多胎分娩 161
 -遅延分娩 167
 呼吸管理の総実施時間 136
 健康管理専門職
 -健康管理専門職としての医療処置 51
 組織片のドナー 56
 緑内障
 -線維柱帯切除術 117
 -緑内障および白内障（コードの順序） 115
 移植片対宿主病 86

H

尿路感染症 70
 主診断（内容） 4
 -分娩に関する主診断 164
 -当初の治療計画が実施しえなかった場合の主診断 9
 -新生児が健常であった場合の主診断 171
 主処置 36
 植皮術 148
 ヘリコバクター（ピロリ） 141
 乳汁分泌停止 169
 肝炎
 -肝炎のキャリア 68
 遺伝性非ポリープ性結腸がん 83
 心臓
 -心停止 124
 -心肺停止 124
 心疾患
 -アテローム硬化症性心疾患 122
 -高血圧性心疾患 125
 -虚血性心疾患 121
 人工（心臓）ペースメーカー 130
 -永久的人工心臓ペースメーカー 130
 -一時的人工心臓ペースメーカー 131
 HIE（低酸素性虚血性脳症） 176
 HIV
 -急性 HIV 感染症候群 63
 -抗レトロウイルス療法（副作用） 67
 -カボジ肉腫 67
 -HIV のコード 63
 -HIV の合併症 63、64
 -HIV 疾患（AIDS） 64
 -コードの順序 65
 -HIV 陽性の可能性 63
 -HIV 症状の出現 65、66

-HIV 陽性 (無症候性) 64
 -HIV 症候群 63
 聴力損失 (突発性) 119
 HPV 154
 人工股関節
 -人工股関節脱臼 150
 ヒト乳頭腫ウイルス 154
 ヒアリン膜症 175
 水瘤 154
 高血糖症
 -糖尿病症状を認めない高血糖症 98
 高血圧性
 -高血圧性心疾患と高血圧性腎疾患の合併
 125
 -高血圧性心疾患 125
 -高血圧性腎疾患 125
 高血圧症
 -二次性高血圧症 125
 前房出血 (術後前房出血) 117
 低酸素性虚血性脳症 176

I

梗塞
 -切迫性心筋梗塞 4
 包含
 -ICD-10-SGB-V 28
 -OPS-301 42
 失禁 106、180
 内固定 150
 急性中毒 [急性酪酐]
 -急性中毒 [急性酪酐] の定義 99
 -急性中毒 [急性酪酐] のコード化方法 100
 腹腔内
 -腹腔内損傷 (開放性) 188
 頭蓋内
 -頭蓋内損傷 (開放性) 187
 胸腔内
 -胸腔内損傷 (開放性) 188
 虚血性
 -虚血性脳症 176
 -虚血性心疾患 121
 -虚血性心筋症 123

K

帝王切開 168
 -帝王切開術の投入 165
 カポジ肉腫 67
 心筋症 (虚血性心筋症) 123
 白内障
 -糖尿病性白内障 93、115
 -白内障患者が人工水晶体挿入の適応となる

場合 115
 -白内障および緑内障 (コードの順序) 115
 カテーテル挿入
 -涙道カテーテル挿入 117
 カーンズ・セイヤー症候群 116
 胎位
 -胎位異常 164
 骨挫傷 185
 骨髄
 -骨髄採取 85
 -骨髄ドナー 85
 -骨髄移植 85
 コード
 -適用対象が限定される場合 41
 コード化、コード入力
 -一般ガイドライン 3
 -所見のコード化 179
 -小児、新生児に関するコード化 51
 -二重コード入力 21
 -組み合わせコード番号 20
 -複合的な侵襲的処置のコード化 41
 -多重コード入力 24
 -多重コード入力
 -ICD-10-SGB-V 22
 -OPS-301 40
 -多発性損傷のコード化 42
 -マイクロサージャリーのコード化 42
 -残余カテゴリーを用いたコード入力 19、31
 -小児科の医療処置のコード化 51
 -多発性外傷のコード化 42
 -医療処置のコード化に関する一般ガイドラ
 イン 35
 -医療処置の構成要素のコード化 35
 -標準的な医療行為のコード化 55
 -症状のコード化 5、179
 -症候群のコード化 13
 -医療処置の一部のコード化 44
 組み合わせコード
 -ICD-10-SGB-V 20
 -OPS-301 40
 筋区画症候群 151
 合併症
 -手術および他の医療処置に伴う合併症 201
 -妊娠合併症 162
 -流産、子宮外妊娠、奇胎妊娠の続発性合併症
 158
 -開放創の合併症 186
 コンタクトレンズ不耐容 116
 挫傷
 -骨挫傷 185
 角膜
 -角膜鉄錆症 116

冠動脈大動脈バイパス形成術 126
 -人工心肺装置適用下（または非適用下）での冠動脈大動脈バイパス形成術 127
 -低侵襲性バイパス手術 127
 -冠動脈大動脈バイパス形成術の再施行 128
 -シーケンシャルバイパス 126
 -バイパス手術時の一時的人工心臓ペースメーカー植え込み 128
 冠動脈血栓症
 -心筋梗塞の続発を伴わない冠動脈血栓症 122
 頭蓋顔面の侵襲的処置 146
 疾患
 -急性疾患および慢性疾患 8、16
 -両側性疾患 21
 -切迫性疾患 3
 -徴候を示す疾患 3
 -原因疾患 5
 -複数の類縁疾患 8
 ダガー・アステリスク方式 5、22
 仙骨痛
 -慢性仙骨痛 149

L

乳汁分泌（乳汁分泌停止、乳汁分泌不全） 169
 腹腔鏡検査 49
 生産
 -妊娠の終了によって生産児が得られた場合 160
 -生産の定義 157
 粘液滲出性中耳炎 119
 白血病 77
 光線療法
 -新生児を対象とした光線療法 174
 口唇
 -口唇の悪性腫瘍 83
 髄液ドレナージ（外ドレナージ） 112
 -髄液の脊椎外ドレナージ 112
 -髄液の脳室外ドレナージ 112
 髄液シャント 112
 -脊髄における髄液シャント 112
 腰部坐骨神経痛 149
 肺疾患
 -慢性閉塞性肺疾患（COLDも参照） 139
 肺水腫（急性肺水腫） 124
 脱臼 184
 -人工股関節の脱臼 150
 脱臼骨折 185
 がん腫性リンパ管症 82
 リンパ腫 82

M

胃ゾンデ（経腸栄養用）
 -新生児での経腸栄養 174
 胃潰瘍
 -胃炎を伴う胃潰瘍 141
 黄斑浮腫 93
 悪性腫瘍
 -新生物に起因する貧血 74
 -皮膚の悪性腫瘍（複数回切除） 146
 -悪性腫瘍の継続治療 72
 -悪性腫瘍の既往 78
 -結腸の悪性腫瘍 83
 -悪性腫瘍の関連合併症 73
 -口唇の悪性腫瘍 83
 -複数部位に発現した悪性腫瘍 76
 -悪性腫瘍の形態 80
 -悪性腫瘍のフォローアップ検査
 -フォローアップ検査を表わすコードの順序 79
 -悪性腫瘍を表わすコードの順序 71
 -悪性腫瘍の再発 72、74
 -病期判定 72
 悪性腫瘍の証明
 -生検だけで証明される場合 74
 症状 5
 -主診断内容となる症状 23
 -コード化の方法 22
 胎盤用手剥離 168
 器械的呼吸管理（「呼吸管理」も参照） 41
 多発性損傷 194
 MELAS 108
 半月板裂傷 151
 MERRF 108
 代謝症候群 97
 金属プレートの除去 197
 転移
 -コードの順序 71
 性的暴力 199
 虐待 199
 ミトコンドリア
 -ミトコンドリア脳症、乳酸アシドーシス様症状、卒中発作様症状 108
 -ミトコンドリアミオパシー 109
 -ミトコンドリア細胞変性 108、116
 奇胎妊娠 157
 -奇胎妊娠の続発性合併症 158
 アルツハイマー病 103
 形態（コード化の方法） 80
 腓線維症 98
 心筋梗塞
 -急性心筋梗塞 121
 -陳旧性心筋梗塞 122
 -再発性心筋梗塞 122

ミオクローヌステんかん 108

N

瘢痕

－瘢痕の修正 146

副次診断 11

－既往歴の副次診断内容 11

－コードの順序 13

副作用

－薬剤による副作用

－処方に従って薬剤を使用した場合 200

新生児期

－定義 171

腎障害

－糖尿病性腎障害 92

新生物（「悪性腫瘍」も参照） 71

新生児

－新生児における羊水過度吸引症候群 175

－新生児における呼吸困難症候群 175

－新生児における特定処置 174

－健常新生児 171

－新生児症例 171

－一過性頻呼吸 176

ニューロパシー

－糖尿病性ニューロパシー 94

好中球減少症 69

腎疾患

－高血圧性腎疾患 125

ニコチン濫用 101

O

手術 9、17

－手術は実施せず 9、17

－手術に関する追加情報 42

進行性眼筋麻痺 109、116

OPS-301

－分類構成 37

－組み合わせコード 40

臓器摘出

－移植目的での臓器摘出 56

臓器ドナー 56

骨接合術

－脊椎固定術での骨接合術 150

P

パニック発作（恐怖症を伴うもの） 102

非経口療法

－新生児における非経口療法 174

鼓室開放チューブ 119

肛門出血 143

周産期

－定義 173

人格障害 101

蜂巣炎 145

－眼窩蜂巣炎 145

－眼窩周囲蜂巣炎 145

恐怖症（パニック発作を伴うもの） 102

PIN 進行度 83

形成外科 146

胎盤剥離（胎盤用手剥離） 168

前立腺（前立腺上皮内新生物） 83

医療処置

－両側の医療処置 45、47

－両側の医療処置（アプローチ） 49

－主処置 36

－医療処置のコード化に関する一般ガイドライン 35

－医療処置の構成要素

－コード化の方法 35

－複数回の医療処置 45

－完全に実施しえなかった医療処置 44

－コード化対象外の医療処置 54

－小児科の医療処置 51

－コードの順序 35、36

－医療処置の中断 44

精神疾患

－妊娠合併症として認められる精神疾患 102

精神・行動障害 99

－麻薬、薬物、アルコール、ニコチンに起因する精神・行動障害 99

産褥期（「産褥」も参照） 169

R

放射線手術法（定位放射線手術法） 110

放射線療法（定位放射線療法） 110

寛解

－白血病の寛解 77

－悪性免疫増殖性疾患の寛解 77

再手術、再施行 53

－冠動脈大動脈バイパス形成術の再施行 128

－心臓手術の再施行 129

切除術

－頭蓋顔面骨切除術 146

残余カテゴリー 19

－他に分類されないもの 31

－詳細不明 19

－詳細記載なし 31

－その他の 19

網膜症

－糖尿病性網膜症 93

－黄斑浮腫を伴う網膜症 93

- 後方すべり症 150
 修正 (術)
 - 心臓手術後の修正術 129
 - 癥痕の修正 146
 再発
 - 悪性腫瘍の再発 72、74
 鉄錆症 (角膜鉄錆症) 116
 脊髄
 - 脊髄損傷のタイプ 191
 - 脊髄損傷の高位 192
 - 脊髄損傷
 - 急性期脊髄損傷 190
 - 慢性期脊髄損傷 191
 - 脊髄損傷 189
 復帰
 - 他院からの復帰 10
-
- S
- 酸素供給
 - 新生児における酸素供給 136、174
 頭蓋底手術 109
 濫用による健康障害 (精神作用性物質)
 - 定義 99
 - コード化の方法 100
 卒中発作 105
 - 急性期卒中発作 105
 - 急性期卒中発作の続発症 (後遺症) 105
 - 卒中発作での失語症および不全失語症 107
 - 卒中発作の重症度 106
 疼痛
 - 急性疼痛 180
 - 疼痛治療 180
 - 慢性疼痛 181
 人工心臓ペースメーカー
 - 永久的人工心臓ペースメーカー 130
 - 一時的人工心臓ペースメーカー 131
 妊娠
 - 副次所見となる妊娠 163
 - 妊娠の終了 (早期終了) 159
 - 妊娠時の複数の愁訴 162
 - 妊娠期間のコード化 161
 - 妊娠合併症 162
 - 妊娠合併症として認められる精神疾患 102
 - 妊娠期間の遷延化 166
 難聴 119
 帝王切開 (術) 168
 二次的
 - 二次的に出現する糖尿病 97
 - 二次的に行われる人工水晶体挿入 (白内障患者) 115
 選択的墮胎 168
- 敗血症 69
 - 尿路感染症 70
 悪寒戦慄の突発 108
 シェント (形成)
 - 透析用シェント形成 132
 - 髄液シェント形成術 112
 - シェントに生じた血栓の治療 132
 日焼け 197
 遅発症状 (「続発症 (後遺症) も参照」) 14
 ドナー
 - 骨髄ドナー、幹細胞ドナー (自家) 85
 脊椎固定術 150
 幹細胞
 - 幹細胞採取 85
 - 幹細胞移植 85
 標準的な医療行為
 - コード化の方法 55
 定位
 - 定位放射線照射 110
 - 頭蓋内組織の定位生検 111
 - 頭蓋内定位神経手術 111
 授乳障害 169
 放射線療法
 - コード化の方法 82
 - 放射線療法と化学療法との併用 81
 - 定位放射線療法 110
 転倒 179
 皮下乳房切断術 (予防を目的とした皮下乳房切断術) 147
 肺サーファクタント欠乏 175
 症状
 - 主診断となる症状 6、18
 - 副次診断となる症状 7
 - コード化の方法 179
 症候群 13
 - 先天性症候群 14
 - 圧挫症候群 186
 - 糖尿病性足部症候群 95
 - 筋区画症候群 151
 - 代謝症候群 97
 - 症候群を表わすコードの順序 13
 - ヤング症候群 155
-
- T
- 日帰り入院 9
 聾 119
 医療処置の一部のコード化 44
 四肢麻痺および対麻痺
 - 非外傷性のもの 107
 - 外傷性のもの 189
 死産
 - 妊娠早期終了での死産 160

- 一定義 157
 線維柱帯切除術 117
 涙道
 ー涙道カテーテル挿入 117
 輸血
 ー新生児を対象とした輸血 175
 新生児における一過性頻呼吸 176
 移植片
 ー移植片に対する拒絶反応 86
 ー角膜移植片に対する拒絶反応 115
 ー移植片の採取 148
 ー移植片による機能不全 86
 ー角膜移植片による機能不全 115
 移植 56
 ー植皮 148
 ー骨髄移植、幹細胞移植 85
 鼓室開放チューブ
 ー鼓室開放チューブの抜去 119
-
- Ü
- 暫定規則 5、47
 過期（妊娠） 166
-
- U
- 検査（臨床検査）
 ー全身麻酔下での検査 50
 尿性敗血症 70
 子宮の術痕 165
-
- V
- 溶接工の閃光白内障 116
 熱傷
 ー熱傷治療の再指示 199
 ー吸入性熱傷 198
 ー体表熱傷面積 198
 ーコードの順序 197
 ー熱傷部位への包帯装着 199
 推定診断 18
 ー退院患者の推定診断 18
 ー転院患者の推定診断 18
 ー推定診断例における主診断 8
 約定（正規の）
 ーアルファベット順索引 33
 ー診断シソーラス 33
 ーICD-10-GM 分類リスト（社会保障法典第五編） 28
 中毒
 ー薬物、麻薬に起因する中毒 199、200、201
 ー中毒の続発症（後遺症） 196
 転院、転科
 ー暫定診断例の転院 18
 ー院内転科 9
 損傷
 ー（開放性）腹部損傷 188
 ー急性損傷、陳旧性損傷（定義） 195
 ー脊髄損傷 189
 ー脊髄損傷の急性期 189、190
 ー脊髄損傷のタイプ 191
 ー慢性期脊髄損傷 191
 ー脊髄損傷の高位 192
 ー脊髄損傷例における椎骨の骨折および脱臼のコード化 193
 ー損傷の続発症（後遺症） 196
 ー皮膚および皮下組織の損傷 145
 ー（開放性）頭部損傷 187
 ー多発性損傷 194
 ー損傷に伴う意識喪失 189
 ー血管、神経、腱の障害を伴う損傷 187
 ー表層性損傷 183
 ー開放創 186
 ー多発性外傷 194
 ー胸腔内（開放性）損傷 188
 ー軟組織損傷 151
 捻挫 183
 経産婦 165
-
- W
- 疣贅（HPV） 155
 陣痛
 ー早期陣痛 166
 女性生殖器切除（FGM）、再建術 156
 軟組織損傷
 ー骨折に起因する軟組織損傷 184
 軟組織損傷 151
 再入院 10
 産褥 169
 創（開放創） 186
-
- Y
- ヤング症候群 155
-
- Z
- 挫滅損傷 185
 裂離 183
 嚢胞性線維症 98

コード番号リスト

ICD コード索引

ICD コード	コード化に関する ガイドライン・ドイツ版	ページ	ICD コード	コード化に関する ガイドライン・ドイツ版	ページ
A04.5	1104a	142	B95! - B97!	1905a	186
A08.0	1602a	173	B95- B97	D012a	24
A17.0†	D012a	22	B95.6!	1905a	186
A18.0†	D012a	23	B96.81!	1104a	142
	D013c	32	B97.7!	1403a	154, 155
A22.8†	D013c	30	C00.-	0217a	83
A27.- †	D013c	30	C00- C75	0203a	74
A30.-	D013c	30	C02.8	0206a	75
A31.0	0101c	68	C08.8	0206a	75
A32.1†	D013c	30	C14.8	0206a	75
A40.-	0103a	69	C16.0	0206a	75
	0104a	70	C16.2	0201b	73
A41-	0103a	69	C18.-	0218a	83
	0104a	70	C18.4	0201b	71
A41.9	0103a	69	C21.8	0206a	75
A46	0401b	97	C24.8	0206a	75
	D013c	29, 30	C26.8	0206a	75
A49.9	0103a	68	C34.1	1806a	182
A54.4†	D011a	22	C39.8	0206a	75
A54.8	D012a	23	C41.8	0206a	75
A54.8†	D013c	30	C43.7	0207a	77
A63.0	1403a	155	C44.0	0217a	83
A70	D013c	32	C44.1	0601a	106
A87.8	0101c	64	C44.2	P005b	47
B00.4†	0101c	65	C44.3	P005b	47
B05.2	D013c	32	C44.6	P005b	47
B20	0101c	64, 65, 66, 68	C46	0101c	67
B20- B24	0101c	63, 65, 66	C46.0	0101c	66, 68
B21	0101c	64, 66, 68	C49.8	0206a	75
B22	0101c	64, 66	C50.4	0201b	72
B23.0	0101c	63, 64		0207a	77
B23.8	0101c	64		D012a	24
B24	0101c	64	C52	0206a	76
B25.8†	0101c	66	C53.-	0206a	76
B37.0	0101c	65	C53.1	0206a	75
B59	D013c	32	C53.8	0206a	75
B90.-	D005a	15	C57.8	0206a	75, 76
B90.0	D005a	16	C61	0201b	72
B91	D005a	15		0202b	74
B92	D005a	15		0211c	80
B94.-	D005a	15	C63.8	0206a	75
B94.0	D005a	15	C67.2	0209a	79
B94.1	D005a	16	C68.8	0206a	75
B94.8	D005a	16	C71.1	0201b	71
			C71.8	0Z02b	73

ICD コード	コード化に関する		ICD コード	コード化に関する	
	ガイドライン・ドイツ版	ページ		ガイドライン・ドイツ版	ページ
C72.8	0206a	75	E16.1	0401b	97
C76.-	0206a	76	E16.2	0401b	97
C77.-	0216a	82	E16.4	0401b	97
C78.2	0215a	82	E16.8	0401b	97
C78.7	0201b	71	E16.9	0401b	97
C78.8	0216a	82	E64.-	D005a	16
C79.5	0201b	72	E64.3	D005a	16
	0216a	82	E68	D005a	16
	1806a	182	E84.-	0403c	98
C79.5†	0202b	74	E84.0	0403c	98
C80	0201b	71	E84.8-	0403c	98
	0215a	82	E84.80	0403c	98
C81.0	0201b	72	E84.87	0403c	98
C81- C88	0216a	82	E84.88	0403c	98
C85.-	0208c	78	E86	1107a	143
C88.-	0208c	77	E89.-	1919a	202
C90.-	0208c	77	E89.0	1919a	202
C91.-	0208c	77	E89.1	0401b	89
C91- C95	0208c	77		0402a	98
C92.-	0208c	77	F00.- *	0508a	103
C92.0-	D006a	17	F00- F09	D012a	24
C92.1-	D006a	17	F09	1919a	202
C93.-	0208c	77	F10.0	0501a	100
C94.-	0208c	77	F10.1	0501a	101
C95.-	0208c	77	F10.2	0501a	100
C95.8!	0208c	78	F10- P19	0501a	99, 100
C97	0207a	76, 77	F17.2	0502a	101
D07.5	0220a	83	F32.2	0506a	103
D12.6	0218a	83	F40.-	0504a	102
D50.9	1510b	163	F40.0-	0504a	102
D59.2	0101c	67	F40.00	0504a	102
D70.-	0103a	69	F40.01	0504a	102
E05.0	D012a	23	F41.0	0504a	102
E10.-	0401b	89	F53.-	0506a	102
E10.20†	0401b	92, 93	F53.0	0506a	102, 103
E10.30†	0401b	92	F60.-	0503a	101
	D012a	25	G00.-	D005a	16
E10.50†	0401b	92, 95	G01*	D005a	16
	D012a	25		D013c	30
E10.61	0401b	90	G02*	D005a	16
E10.61†	0401b	90	G03.9	D008b	18
E10.71†	0401b	91, 97	G03- G04	D005a	16
	D012a	26	G04.9	0603c	107
E10.91	0401b	90	G05.- *	D005a	16
E10†- E14†	0401b	92, 93, 94	G05.0*	D013c	30
	0701a	115	G05.1*	0101c	65
E10- E14	0401b	89, 91, 95	G06.-	D005a	16
	1916a	199	G07*	D005a	16
E11.-	0401b	89	G08	D005a	16
E12.-	0401b	89	G09	D005a	16
E13.-	0401b	89	G25.8	0605a	108
E14.-	0401b	89	G30.- †	0508a	103
E16.-	0401b	97	G31.81	0606a	108, 109
E16.0	0401b	97		0709a	116

ICD コード	コード化に関する ガイドライン・ドイツ版	ページ	ICD コード	コード化に関する ガイドライン・ドイツ版	ページ
G31.81†	0606a	109	H36.0*	D012a	25, 26
	0709a	117	H36.8*	0606a	109
G40.3	0606a	108		0709a	116, 117
G59.0*	0401b	94	H44.0	0704c	115
G63.2*	0401b	94, 95, 96, 97	H44.1	0704c	115
			H49.4	0606a	109
G63.3*	D012a	23		0709a	116
G71.3	0606a	109	H49.8	0606a	109
G73.0*	0401b	94		0709a	116
G81.0	0601a	105	H54.-	0401b	93
G81.1	0601a	106	H54.4	D005a	15
	D005a	15	H57.9	D009a	20
G82.-	0603c	107, 108	H59.-	1919a	202
	1910c	191	H65.3	0802a	119
				D007a	17
G82.08	1910c	191	H65.9	0802a	119
G82.6!	0603c	108	H72.9	0803a	119
G82.6-!	0603c	107	H75.0*	D012a	23
G82.66!	1910c	191	H90.-	0801a	119
G83.2	D005a	15	H91.-	0801a	119
G83.4-	1910c	191	H95.-	1919a	202
G83.41	1910c	191	I05.-	D013c	31
G90.-	D013c	32	I05.0	D013c	31
G90.0-	D013c	32	I05.1	D013c	31
G90.00	D013c	32	I05.2- I05.9	D013c	31
G90.08	D013c	32	I11.-	0904a	125
G90.1	D013c	32		0906a	125
G90.80	0604a	108	I12.-	0905a	125
G90.81	0604a	108		0906a	125
G90.82	0604a	108		D013c	29
G93.8	1918a	201	I13.-	0906a	125
G97.-	1919a	202	I15.-	0907a	125
G99.0*	0401b	96	I15.0-	0907a	125
H00.0	1201a	145	I15.2-	0907a	125
H02.8	D009a	20	I20.-	0901c	121
H02.9	D009a	20	I20.0	0901c	121
H05.0	1201a	145		0908c	128
H10.4	0706a	116		D001a	4
H16.-	0704c	115	I20.9	0901c	121
H16.1	0707a	116	I21.-	0901c	121, 122
H16.8	0706a	116	I21.0 - I21.3	0901c	121
H18.-	0704c	115	I21.4	0901c	122
H18.0	0708a	116	I22.-	0901c	121, 122
H18.2	0706a	116	I23.-	0901c	121
H18.8	0706a	116	I24.-	0901c	121, 122
H20.-	0704c	115	I24.0	0901c	122
H21.0	0710a	117	I25.-	0901c	121, 122
H25.-	0401b	93	I25.1-	0901c	122, 123
H26.9	D009a	20	I25.10	0901c	122
H27.0	0702a	115	I25.11	0901c	122
H28.0*	0401b	93		0908c	128
	0701a	115	I25.12	0901c	122
H32.0*	0101c	66		0908c	128
H35.8	0401b	93	I25.13	0901c	122
H36.0*	0401b	91, 92, 93			